

患者説明で信頼関係を築く

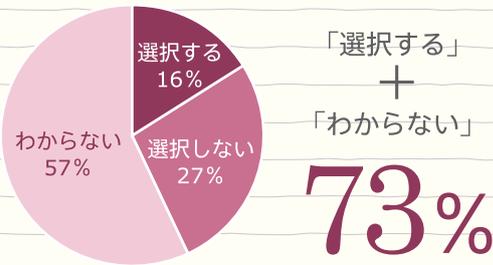
患者は正確な情報の開示を求めている。

—日本歯科新聞社・メディカルコミュニケーションズ(株)共同アンケートより—

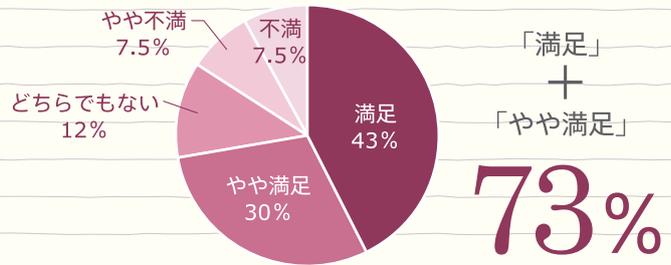
インプラントの危険性がNHKやマスコミ等に大きく取り上げられ、国民は大きな関心を示しました。マイナスイメージの強いこれらの報道を受け、インプラントへの国民の意識はどう変化したのでしょうか。日本歯科新聞社とメディカル・コミュニケーションズ(株)が共同でアンケートを実施し、769名から回答を得ました。

報道後、インプラントに対し「非常に危険と思った」「やや危険と思った」との回答は89%に上りました。

Q 報道を聞いたうえで、今後インプラント治療を選択しようと思えますか



Q インプラント施術後の、治療に対する満足度をお聞かせください



インプラントに不安を感じている方が多数いる一方で、インプラント治療が選択される可能性は7割のなかに残されています。また、実際に施術された方の満足度が高いことは、特筆すべき結果だと言えます。

Q マスコミで「インプラントは危険」といった報道がなされていることについて、ご感想やご意見をお聞かせください（自由回答）

“インプラント素材、メンテナンスなどしっかり説明
いただいて、自分で納得して治療を受ければ問題
はないと思う。”

“インプラント治療を施す歯科医院や歯科医師が
メリットやデメリット、注意点などを正確かつ分か
りやすく患者に伝える努力が必要。”

“手術であるので危険は伴うものである。きちんと
治療を理解してから施術しないといけない。医師
側もきちんと説明する義務があると思う。
インプラントでないし解決しない治療もある。”

“危険と書くことはいくらかでも可能。しっかり検証
したうえで、無責任な論評は避けるべきだし、
我々も報道に一喜一憂せず、専門家の意見を聞い
たうえでインプラントをするかしないか決めたい。”

“インプラントの問題というよりは、施術した歯科医師の技術やその後のケア等を怠ったなど、様々な要因が潜在
化していると感じている。総合的な判断が施術するにあたって必要であり、歯科医師はその情報を詳細に患者
へ説明しなければならぬし、患者はそれらの情報をもとに、どういった治療を求めるべきかを自己責任で
判断しなければならない。”

自由回答から、一般の方々がマスコミ報道を鵜呑みにするのではなく、冷静に判断していることがわかります。なかでも正確な情報の発信と歯科医師による説明を求める声が多く見受けられました。

回答のひとつに「一番大切なのは、患者と医師がきちんと向き合い、信頼関係の上で治療を進めることだと思う」という意見があります。患者さんに正しい情報を開示し、治療に真摯に臨むことが、インプラントを安心・安全なイメージへ転ずる鍵となるのではないのでしょうか。

調査企画：日本歯科新聞社
調査・分析：メディカル・コミュニケーションズ株式会社